



コレクター 伊藤の我が音楽人生

第7回 コレクター気質

こんにちは、先生方がお過ごしですか？
なんだかんだ言って、もう7回目になるんですね。
いつも読んでいただき(?) ありがとうございます。
青春時代を思い出していただければ幸いです。

今回は「コレクター気質」と題して、一番変人の多い人々について書かせていただきますね。そう
いっている私も、変人の一人なんでしょうね(笑)。

まず、何をコレクトするか、つまり集めるかですが、1960年代から70年代はレコードを集める方がほとんどだと思います。レコードは当時高価なもので、集めるといっても大変でした。私は中学生からですが、LPレコードはお年玉でも貰わないと買えませんでしたので、もっぱらシングル盤でした。今でも相当数残っております。初めて買ったシングル盤、サウンドトラックで「荒野の用心棒」。初めて買ったLPレコードはBEE GEESのセカンド「マサチューセッツ」シングルは370円、LPレコードは1,750円でした。当時はまだ中古レコード店はありませんでしたから、新品を買うしかなかったので、子どもながらにどうしたら買えるか考えましたが、全くどうしようもなく同学年の女の子に頼っておりました。その頃は本屋さんの一角にレコードが置いてありまして、眺めてはため息をつけておりました。そののち、レコード店が増えていき全国展開されるんですね。セブな女の子はLPもシングルも買い集めて、今思うと自分の先生みたいな存在でしたね。ZAPPAもALICE COOPERもANIMALSもDEEP PURPLEもみな彼女のレコードで聴かせていただきました。今の私があるのも彼女のおかげですね。

その後、時代はCDの時代になります。コンパクトサイズで良いのですが、最初の発売時には値段も高く、音質もいまいちで大変でした。レコードがまだ販売されていましたので、共存した貴重な

期間でもありましたね。

そういえばカセットデッキの普及でレコードから違法と知りつつダビングしたり、FM放送からのエアチェックはよくやりましたし、重宝したのですが、ここで首をもたげるのがテープは消えもの、ゆえにコレクターは満足しないのです。CDでさえサイズの初めは抵抗ありましたものね。まして、貸しレコードなるものは一体何であったのだろう。ミュージックカセットは値段も高く、ガソリンスタンドで売ってましたね。今、集めている人はいないとは思いますが、一人います。私です(笑)。割高感を感じますし、音も悪くて。八神純子さん、買いました。後にも先にもこれが初めてで最後でしたね、新品の購入は。

ヤフオクで高額落札しているレコードの発表がありました。6桁は軽くクリアしてましたね。凄いのは日本盤帯付きの人气が衰えず、びっくりするとともに呆れました。先生方の中に落札された方がいらしたら、申し訳ありません(笑)。JAZZでもBLUENOTEはやはり高額取引されてますね。



BEATLESのホワイトアルバムの日本盤プロモーション赤盤、内田裕也&フラワーズのエニウェア帯付きは20万円から30万円。山下達郎さんのメジャーデビュー前のレコードは何と100万円を超えてましたね。私は、今集めることには少し熱が

冷めまして、お店のLIVE音源を使いCDを作ったり、映像をDVDにして楽しんでおります。考えてみたら、究極のコレクターかもしれませんね。これはなかなかできませんものね。

時代が少し逆行しているみたいですね。レコード店が新しくできたり、カセットに関しての本やBCLラジオの本が発売されたり、レコード女子なるジャケットだけ眺める人たちがいたり。集めるものは音楽関係のものだけで、つくづく良かったと思っています。

骨董やら美術品などだったら大変でした。今でも家内には、さんざんちらかしの部屋を何とかしてと言われてます。生きてきた年数より今後の人生は間違いなく短いのだからとも思いますが、やはりやめられないのかなあ。都内の中古レコード店に行った時の心のときめきは続いている今日

この頃です。

今回は「JAZZ、ROCKの今」と題して突っ込んで見ようと思います。最後までお付き合いいただき、ありがとうございます。

(ひたちなか市 伊藤歯科医院・伊藤輝彦)